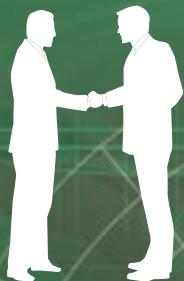


# 第70期報告書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(証券コード7525)



## 事業紹介

### 商品

#### 圧力発生機



**ブランジャーポンプ**  
 高圧水の発生源となるポンプ  
 高圧水洗浄装置の動力源として利用

#### 応用機器・システム商品

**ロッキーワッシャー**  
 多用途の高圧水洗浄機



**金属接合機 (TOX)**  
 異種金属板を接合する機械

#### 付属機器・部品



**オイルシール類**  
 高圧の水・油を密封し外に漏れないようにする  
 外部からダストが侵入するのを防ぐ

#### 関連技術商品



**三方ピストン弁 (ロッキーバルブ)**  
 高圧のガス等の流量を調整する弁  
 主にタイヤメーカーの加硫機に使用

商社機能

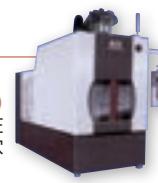
### 製品

#### 応用機器・システム製品

**フラックス精密洗浄装置**  
 半導体新製品 (CSP, BGA等)  
 の製造工程に使用されるフラ  
 ックスを除去し、純水にて精  
 密仕上げ洗浄を行う装置



**NC高圧洗浄機 (ジェットフレックス)**  
 自動車業界向けの、高圧  
 水を利用した部品の深穴  
 の金属バリ取装置



#### 付属機器・部品

**クリーンルーム対応  
 ロータリージョイント**  
 半導体業界で、CMP設備な  
 どに水や研磨剤などを供給  
 する回転継手



**工作機械用  
 ロータリージョイント**  
 マシニングセンタでク  
 ラント液をスピンドル  
 から噴射する用途に  
 使用する回転継手

メーカー機能

### 営業区分

リックスはお客様のニーズに  
 迅速・的確に対応できる顧客  
 密着型の「メーカー商社」と  
 いう業態です。

鉄鋼

自動車

電子・半導体

ゴム・タイヤ

高機能材

環境

紙パルプ

その他

## 株主の皆様へ



代表取締役社長  
 松浦賢治

## 平成28年5月30日、当社株式が東京証券取引所第二部から同市場第一部に指定されました。

### ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、平成28年5月30日をもって、東京証券取引所市場第一部に指定されることとなりました。これもひとえに、株主の皆様をはじめ、多くの関係者の皆様のご支援の賜物と心より御礼申し上げます。

今後も、皆様のご期待にお応えできるよう、さらなる業容の拡大と企業価値の向上に努めてまいります。

さて当社第70期(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)における業績のとりまとめを終えましたので、ここに第70期報告書をお届けします。

引き続きご指導とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### トップインタビュー

**Q.** 当期の営業概況について教えてください。

**A.** 前年同期比で、売上高は6.0%増の334億24百万円、営業利益は29.1%増の17億76百万円、経常利益は22.6%増の19億15百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は44.5%増の11億26百万円となりました。

当期の世界経済は、先進国はおおむね堅調だったものの、中国の景気減速が原油価格および資源価格の下落を招いたことで、新興国や資源国の経済成長に下押し圧力がかけられ、その影響が世界的に波及しました。

一方、日本経済の成長も海外経済の影響を受けて緩やかなものとなり、個人消費、設備投資ともに力強さを欠いたものの、設備投資については、能力増強を目的とする投資の比重が下がり、合理化と省力化を目的とする投資の比重が高まってきました。

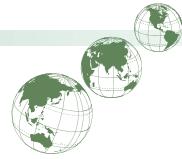
こうした経済環境のもと、当社グループでは中期3ヵ年計画「戦略ビジョン2017」に基づく施策を推し進め、経営課題の解決と経営目標の達成に取り組んでまいりました。

この結果、当期の連結業績は売上高、営業利益、経常利益ともに堅調に推移しました。

**Q.** 当期のセグメント別事業の概況についてお聞かせください。

**A.** 当社グループにおける業界別セグメントの成績は、高機能材業界を除き、いずれも増収となりました。

鉄鋼業界向けでは、粗鋼減産の影響を受けましたが、顧客の課題解決に注力し高付加価値な提案営業を行った



ことにより、ベアリング再生の売上が伸びたほか、配管耐食塗装の大口受注も獲得することができました。この結果、売上高は106億78百万円(前年同期比3.1%増)となりました。

自動車業界向けでは、製造ラインの合理化・省力化の提案営業に努めたことで、自動車部品メーカー向け洗浄機や低・高温検査機の売上が伸びたほか、工作機械メーカー向け自動洗浄機の販売に繋がりました。この結果、売上高は80億38百万円(前年同期比17.7%増)となりました。

電子・半導体業界向けでは、半導体メーカー向け洗浄装置の売上が伸長したほか、光学機器メーカーへ表面処理装置の導入を果たすことができました。この結果、売上高は33億9百万円(前年同期比3.5%増)となりました。

ゴム・タイヤ業界向けでは、中国の販売子会社でタイヤ加硫機用バルブの販売が好調だったことから売上増となりました。この結果、売上高は32億14百万円(前年同期比3.0%増)となりました。

高機能材業界向けでは、真空ポンプ等の販売が伸びましたが、前年同期に研究開発用で表面処理装置の大口受注があった分を補うまでに至りませんでした。この結果、売上高は12億27百万円(前年同期比4.4%減)となりました。

環境業界向けでは、焼却施設向け伸縮継手の売上が伸長したほか、足場板の洗浄機が売上増に貢献しました。この結果、売上高は16億27百万円(前年同期比19.5%増)となりました。

紙パルプ業界向けでは、搬送用ポンプの売上が伸びたほか、バイオマス発電向けサイレンサーの販売が売上増に寄与しました。この結果、売上高は6億57百万円(前年同期比10.6%増)となりました。

**Q.** 中期3ヵ年計画「戦略ビジョン2017」の概要と進捗状況などをお聞かせください。

**A.** さまざまな取り組みや積極的な投資を行い、着実に計画を実行しています。

「戦略ビジョン2017」は、当社グループの持ち味であるメーカー商社としてのビジネスモデルをさらに進化させるとともに、より専門的でニッチな分野での開発やメンテナンス、さらに、メーカー機能を向上させることで創り出した高付加価値製品やサービスを、各業界のナンバーワン企

業顧客に提供するグローバルニッチトップの企業グループとなることを目指し、2015年度より取り組んでいる中期3ヵ年計画です。

当期においては、顧客接点での開発能力およびメンテナンス能力向上などメーカー機能強化を行いました。具体的には中部地区に開発機能をもつ中部テクニカルセンターを建設しました。この拠点を通してお客様の技術的な開発課題の解決に貢献していきます。また、組織改革として、企画本部を設立し部門間連携の強化およびリックスグループの戦略統合を推進しております。さらに、海外展開においては海外事業本部を設立し海外事業の統合とさらなる海外展開を推進しました。その一環として、北米に販売拠点「RIX North America, LLC」を設立しました。これによりヨーロッパ、アメリカ、アジアの世界三極体制でグローバルな対応が可能となりました。

今後も、「戦略ビジョン2017」を強力に推進し、業績の向上に努めてまいります。

**Q.** 今後に向けてのビジョンや株主様へのメッセージをお願いします。

**A.** 全社一丸となって「戦略ビジョン2017」に掲げる経営目標の達成を目指しています。

わが国の経済は先行き不透明感が強まり、低調に推移すると予想されます。

中国をはじめとする新興国経済の減速の影響が世界的に波及し、足元では急速な円高進行と株価下落により企業収益の下押しリスクが高まっていることから、設備投資の実行や賃上げが遅れ、個人消費も伸びを欠くものと思われます。

こうした経済環境は、当社グループの経営にとりましても厳しい状況にあるといえますが、顧客の課題解決をはじめ、高付加価値提案営業に力を入れ、中期3ヵ年計画「戦略ビジョン2017」に掲げる経営目標の達成に向けて邁進したいと考えております。

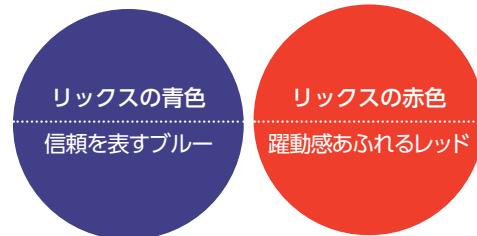
株主の皆様におかれましては、当社グループの企業価値をご理解いただくとともに、今後の発展へのご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

Corporate Identity

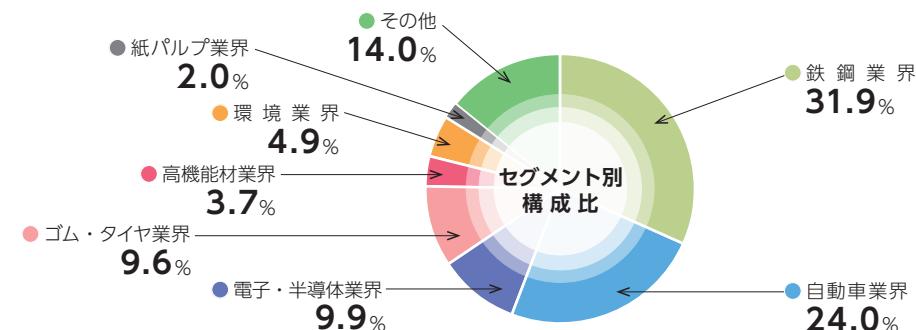
培われた伝統のもとに、さらに未来への飛躍を図るというイメージを表現しています。



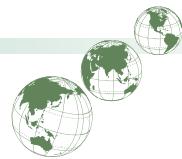
- R** 自社ブランド「ROCKY」の頭文字
- I** INDUSTRY(工業/産業)の頭文字
- X** 無限の可能性と将来性



セグメント別構成比



# 連結財務諸表



## 連結貸借対照表

単位：百万円

| 科目       | 前期<br>(平成27年3月31日現在) | 当期<br>(平成28年3月31日現在) | 科目          | 前期<br>(平成27年3月31日現在) | 当期<br>(平成28年3月31日現在) |
|----------|----------------------|----------------------|-------------|----------------------|----------------------|
| 資産の部     |                      |                      | 負債の部        |                      |                      |
| 流動資産     | 15,833               | 17,664               | 流動負債        | 10,015               | 10,943               |
| 固定資産     | 6,749                | 6,131                | 固定負債        | 1,148                | 1,416                |
| 有形固定資産   | 1,984                | 2,711                | 負債合計        | 11,163               | 12,360               |
| 無形固定資産   | 75                   | 109                  | 純資産の部       |                      |                      |
| 投資その他の資産 | 4,688                | 3,310                | 株主資本        | 9,819                | 10,290               |
| 資産合計     | 22,582               | 23,795               | 資本金         | 827                  | 827                  |
|          |                      |                      | 資本剰余金       | 683                  | 683                  |
|          |                      |                      | 利益剰余金       | 8,430                | 9,185                |
|          |                      |                      | 自己株式        | △122                 | △406                 |
|          |                      |                      | その他の包括利益累計額 | 1,050                | 608                  |
|          |                      |                      | 非支配株主持分     | 548                  | 535                  |
|          |                      |                      | 純資産合計       | 11,418               | 11,434               |
|          |                      |                      | 負債・純資産合計    | 22,582               | 23,795               |

## 連結損益計算書

単位：百万円

| 科目              | 前期<br>(平成26年4月1日から<br>平成27年3月31日まで) | 当期<br>(平成27年4月1日から<br>平成28年3月31日まで) |
|-----------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 売上高             | 31,528                              | 33,424                              |
| 売上原価            | 25,252                              | 26,286                              |
| 売上総利益           | 6,275                               | 7,138                               |
| 販売費及び一般管理費      | 4,899                               | 5,362                               |
| 営業利益            | 1,376                               | 1,776                               |
| 営業外収益           | 215                                 | 164                                 |
| 営業外費用           | 29                                  | 24                                  |
| 経常利益            | 1,562                               | 1,915                               |
| 特別利益            | 2                                   | 2                                   |
| 特別損失            | 9                                   | 6                                   |
| 税金等調整前当期純利益     | 1,555                               | 1,911                               |
| 法人税等            | 737                                 | 733                                 |
| 当期純利益           | 817                                 | 1,177                               |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | 38                                  | 50                                  |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 779                                 | 1,126                               |

## 連結包括利益計算書

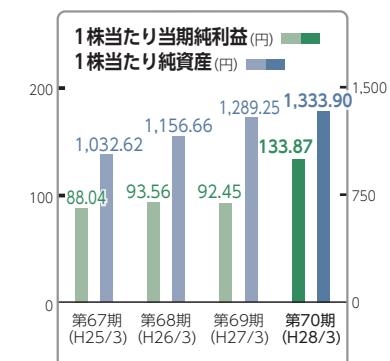
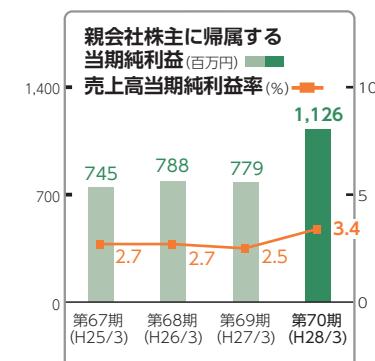
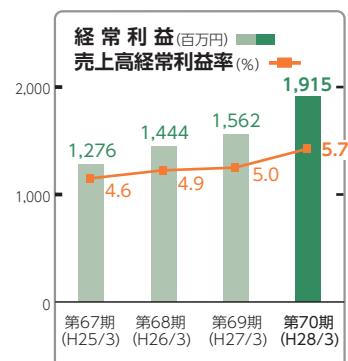
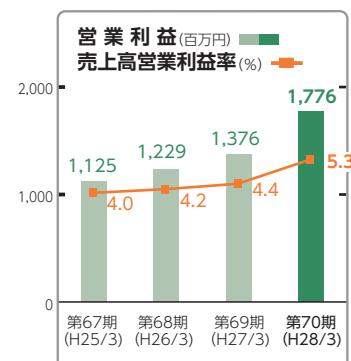
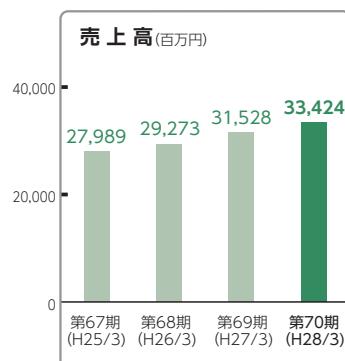
単位：百万円

| 科目               | 前期<br>(平成26年4月1日から<br>平成27年3月31日まで) | 当期<br>(平成27年4月1日から<br>平成28年3月31日まで) |
|------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 当期純利益            | 817                                 | 1,177                               |
| その他の包括利益         | 578                                 | △574                                |
| その他有価証券評価差額金     | 475                                 | △502                                |
| 為替換算調整勘定         | 54                                  | △49                                 |
| 退職給付に係る調整額       | 46                                  | △20                                 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 2                                   | △2                                  |
| 包括利益<br>(内 訳)    | 1,396                               | 602                                 |
| 親会社株主に係る包括利益     | 1,303                               | 608                                 |
| 非支配株主に係る包括利益     | 93                                  | △6                                  |

## 連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

| 科目                   | 前期<br>(平成26年4月1日から<br>平成27年3月31日まで) | 当期<br>(平成27年4月1日から<br>平成28年3月31日まで) |
|----------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー     | 98                                  | 796                                 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー     | 216                                 | △819                                |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー     | 22                                  | 302                                 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額     | 13                                  | △24                                 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)  | 350                                 | 255                                 |
| 現金及び現金同等物の期首残高       | 1,821                               | 2,172                               |
| 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額 | —                                   | 260                                 |
| 現金及び現金同等物の期末残高       | 2,172                               | 2,687                               |



当社グループの業績は国内製造業の設備投資と生産活動に依拠しておりますが、国内製造業は少子高齢化に伴う国内市場縮小を見越し、地産地消の考えに基づいて海外への生産移管をますます加速していることから、この変化への対応が最

も重要な経営課題となっております。

当社グループは、2015年度より新たに中期3ヵ年計画『戦略ビジョン2017』を下記のとおり策定し、経営課題の解決と経営目標の達成に全社一丸となって取り組んでまいります。

● 戦略ビジョン2017  
2015年度～2017年度

### 戦略ビジョン2017(2015年度～2017年度)

#### ビジョン

リックスは、メーカー商社のビジネスモデルを更に進化させ、より専門的なニッチ分野で、開発・メンテナンス等のメーカー機能をアップしながら、高付加価値を創り出し、各々の分野のナンバーワン企業顧客に、提供できるグローバルニッチトップのグローバル企業集団を目指します。

#### 経営目標

経常利益**20億円(連結)**の達成

#### ● 事業方針

##### 1 メーカー商社のビジネスモデルの進化

- 1) 営業プロセス改革・生産プロセス改革の継続
- 2) 顧客接点でのメーカー的対応能力の強化
- 3) リックスグループ企業の協働を通じた結束の強化
- 4) 新事業開発・新製品開発・新市場開発の推進

##### 2 海外事業展開の促進

- 1) 欧米を含むグローバルな拠点展開
- 2) アジア地域における適正規模での黒字化

##### 3 人と組織の能力向上

- 1) 企画機能の向上と全社的な統合
- 2) 社内制度・ルール・教育体系の根本的な見直し
- 3) 計画的・継続的な人材育成

## Topic トピック

### 2016年5月30日、当社株式が東京証券取引所 第二部から同市場第一部に指定されました。



- 2016年5月  
東京証券取引所市場第一部に指定
- 2008年2月  
東京証券取引所市場第二部に株式上場
- 2007年10月  
創業100周年
- 1996年11月  
福岡証券取引所に株式上場
- 1907年5月  
創業

2016年5月30日に、当社株式は東京証券取引所市場第二部から同市場第一部に指定されました。これもひとえに、株主の皆様をはじめ関係者の皆様のご支援・ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

当社は創業1907年、2016年5月時点で109年続いている古い歴史を持つ会社ですが、これまで変化に対応するために色々なことにチャレンジしてきました。損得よりも善悪を優先するという考え方、また、お客様からの要望にも決して逃げない姿勢。これまでの歴史の中で脈々と受け継がれてきたリックスのDNAをベースに、変わることを恐れずチャレンジを続けます。

今後も皆様のご期待にお応えできるよう、グループ一丸となって企業価値の向上に努めてまいりますので、引き続きご指導・ご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

# リックグループネットワーク

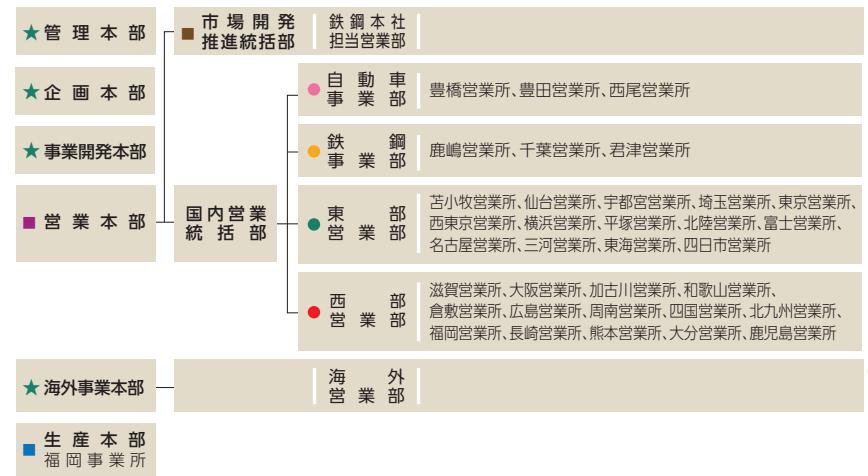
## 海外ネットワーク (平成28年4月1日現在)



## 事業所 (平成28年4月1日現在)

### 信頼と情報を支えるネットワーク網

先進技術、膨大なノウハウ、鋭敏な感性、そしてサービスも含めた高信頼性。これらは、全国に張り巡らされたネットワークをベースに、きめ細かなコンサルティング・セールスを展開することによって獲得してきました。ユーザーとともに歩むメーカー商社リックスは、なによりもお客様との質の高い、多くの接点を大切にしています。



# 会社情報 / 株式情報

## 会社概要 (平成28年3月31日現在)

- 商号 リックス株式会社
- 英文社名 RIX CORPORATION
- 創業 明治40年(1907年)10月
- 設立 昭和39年(1964年)5月1日
- 資本金 8億2,790万円
- 従業員 355名(連結555名)
- 主要な事業内容 高圧圧応用機器、精密計測・検査機器等の製造販売

## 取締役および監査等委員である取締役 (平成28年6月28日現在)

|         |        |            |          |
|---------|--------|------------|----------|
| 代表取締役社長 | 松浦 賢治  | 取締役(監査等委員) | 大曲 宣彦    |
| 常務取締役   | 柿森 英明  | 取締役(監査等委員) | 小西 正純(*) |
| 常務取締役   | 川久保 昇  | 取締役(監査等委員) | 武藤 靖(*)  |
| 取締役     | 苅田 透   | 取締役(監査等委員) | 作間 功(*)  |
| 取締役     | 芹川 康介  |            |          |
| 取締役     | 橋本 忠   |            |          |
| 取締役     | 安井 卓   |            |          |
| 取締役     | 江頭 裕明  |            |          |
| 取締役     | 多々良 浩昭 |            |          |

(\*)社外取締役

## 株式の状況 (平成28年3月31日現在)

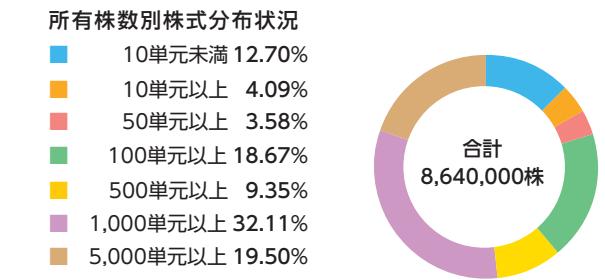
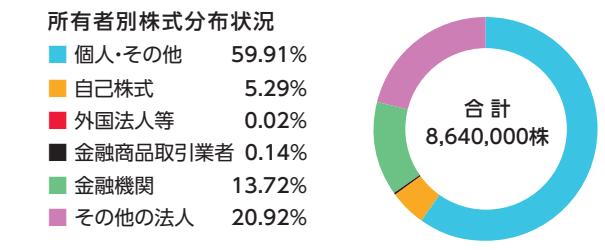
- 発行可能株式総数 27,600,000株
- 発行済株式の総数 8,640,000株
- 株主数 10,297名

大株主 (上位10名)

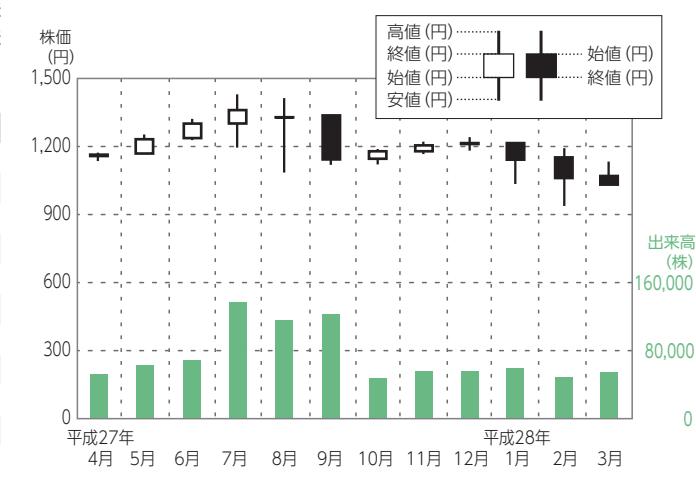
| 株主名           | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|---------------|---------|---------|
| NOK株式会社       | 1,167   | 14.27   |
| リック取引先持株会     | 516     | 6.32    |
| 安井玄一郎         | 438     | 5.36    |
| 株式会社西日本シティ銀行  | 382     | 4.68    |
| リック従業員持株会     | 302     | 3.70    |
| 安井龍之助         | 232     | 2.84    |
| 園田和佳子         | 172     | 2.11    |
| 山田貴広          | 169     | 2.07    |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 152     | 1.86    |
| 株式会社福岡銀行      | 120     | 1.47    |

注) 1. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。  
2. 上記大株主のほか、当社は自己株式457千株を保有しております。

## 株式分布状況 (平成28年3月31日現在)



## 株価および株式売買高の推移



## 株主メモ

- ◆ 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- ◆ 定時株主総会 毎年6月
- ◆ 配当金受領  
株主確定日 期末配当金 3月31日  
中間配当金 9月30日
- ◆ 株主名簿管理人  
および特別口座の  
口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- ◆ 株式に関する各種手続の申込先について  
・住所変更、単元未満株式の買取請求、買増請求、配当金受取方法の指定等は、お取引口座のある証券会社に申し出てください。  
ただし、特別口座に登録された株式に係る各種手続につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社に申し出てください。  
・未払配当金のお支払いにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社に申し出てください。
- ◆ 同連絡先 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
☎ 0120-232-711 (通話料無料)
- ◆ 公告方法 電子公告により行います。  
公告掲載  
URL <http://www.rix.co.jp/>  
ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告します。
- ◆ 単元株式数 100株
- ◆ 上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部  
福岡証券取引所

## 株主優待制度のご案内

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに当社株式への投資の魅力を高めていただくため、株主優待制度を実施しています。



- 割当基準日 3月31日ならびに9月30日
- 優待内容
  - ・100株以上1,000株未満  
所有の株主様  
→ クオカード1,000円分
  - ・1,000株以上10,000株未満所有の株主様  
→ クオカード2,000円分
  - ・10,000株以上所有の株主様  
→ クオカード5,000円分

なお、第71期より優待内容が変更になります。

- 割当基準日 3月31日
- 優待内容
  - ・100株以上300株未満所有の株主様  
→ クオカード1,000円分
  - ・300株以上500株未満所有の株主様  
→ クオカード2,000円分
  - ・500株以上1,000株未満所有の株主様  
→ クオカード3,000円分
  - ・1,000株以上10,000株未満所有の株主様  
→ クオカード4,000円分
  - ・10,000株以上所有の株主様  
→ クオカード10,000円分

当社ウェブサイトのIR情報のページに決算情報など最新の情報を配信しております。ぜひご活用ください。

<http://www.rix.co.jp/>

リックス株式会社

検索

**RIX** リックス株式会社

〒812-8672

福岡市博多区山王一丁目15番15号

TEL (092) 472-7311

**UD FONT**

見やすく読みまちがえにくいユニバーサル  
デザインフォントを採用しています。